

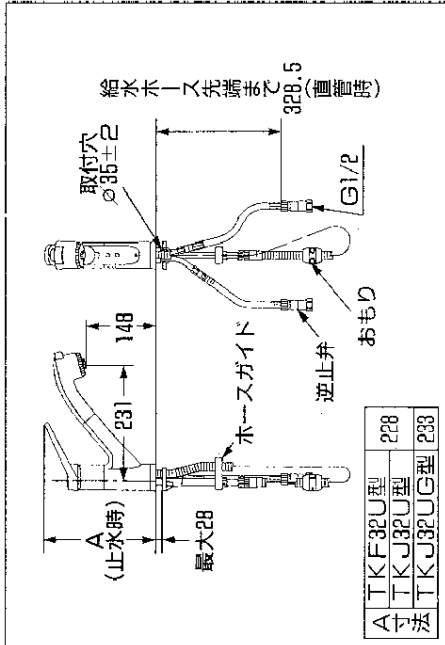
# シングルレバー混合栓

# 施工説明書

- ・能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- ・比例制御タイプの出湯温度は最高温度に設定。

## 完成図

TKF32U型、TKJ32U型、TKJ32UG型



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 使用条件

### 1. 使用水压

(1)瞬間型給湯機と組合せる場合

給水水压 { 最低必要水压… (表参照)

{ 最高圧力…0.74MPa (7.5kgf/cm<sup>2</sup>)

<設定条件>

・レバーハンドルは全開

・吐水温度: 38°C

・給湯配管長さ: 5m

・給湯機が着火する下限の圧力とする。

・吐水は整流吐水

・水温の高い (25°C) 夏期に着火させることを想定。

器具入口部における最低必要水压 (MPa (kgf/cm<sup>2</sup>))

能力手動切替タイプ	給湯機タイプと号数		最低必要水压
	12号	10号	A+0.6 (6.0)
TOTO カスタム 制御方式	16号	10号	0.108 (1.1)
	20号	16号	
	16号	20号	
	20号	24号	
TOTO トリコ 制御方式 (トリコ ・コンタクト ・アクティ ・スパーアクティ )	24号	24号	0.08 (0.8)
	24号	24号	
	24号	24号	
TOTO ハイトリコ 制御方式	21号	21号	0.06 (0.6)
	24号	24号	
	16号	16号	
	24号	24号	
TOTO コマンド	21号	21号	0.07 (0.7)
	24号	24号	
TOTO ハイコマンド	21号	21号	0.06 (0.6)
	24号	24号	

(注) 表中のAは給湯機の最低作動水压を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、

能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

(2)貯湯式給湯機と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水压…0.05MPa (0.5kgf/cm<sup>2</sup>)

{ 最高圧力…0.74MPa (7.5kgf/cm<sup>2</sup>)

給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

給水ホースには◎ラベルを、給湯ホースには①ラベル

を張付けています。

なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短

距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

4. 水勢調節や保守点検のため、止水栓 (別途手配) を

必ず取付けください。

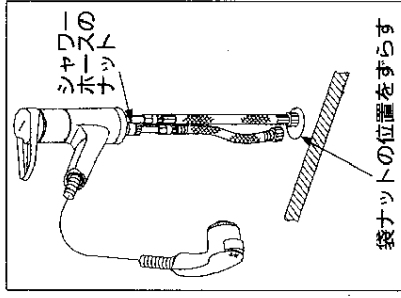
## 器具の取付け

### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のこみ、砂などを完全に洗い流してください。

### 2. 混合栓本体の取付け

(1)混合栓本体をカウンタターへ取付ける際、給水・給湯ホースの袋ナットおよびシャワーホース取付ナットを同じ位置にして、カウンタターの穴へ差し込みますと、ナットが穴に当たり、入りませぬ。ホースの袋ナットの位置を図のように上下に少しずらし、シャワーホースを十分に引出し図の位置にナットがくるようにして差し込んでください。



(2)この時、ホースを必要以上の方で曲げて折らないよう、注意してください。

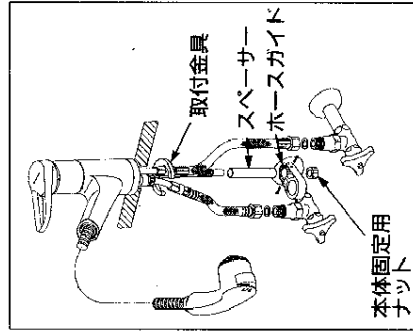
万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。

### (2)混合栓本体が正面を向

くようにし、本体固定軸兼通水管に取付金具、スパーサー、ホースガイドの順に通して本体固定用ナットで仮固定してください。

### (3)逆止弁 (寒冷地用の場

合はソケット) を止水栓に本固定し、給水・給湯ホースを逆止弁に接続してください。

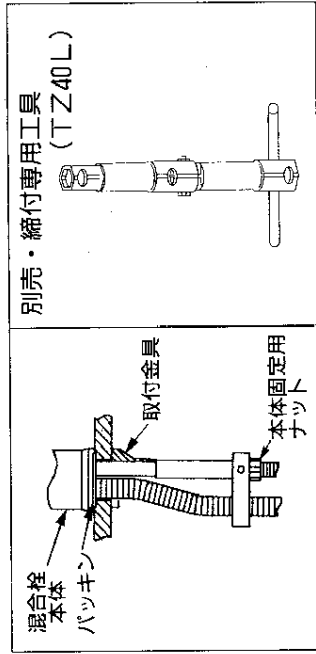


(4)混合栓本体を本固定して下さい。別売のナット締付専用工具(TZ40L)を利用して本体固定用ナットを、確実に締めてください。

(注)給水・給湯ホースのゆるみ防止のため給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

※混合栓本体を固定する際、本体下のパッキンの取付位置をまちがわないように注意してください。

※混合栓本体を固定する際、取付穴が水栓本体の中心にくるように取付けてください。

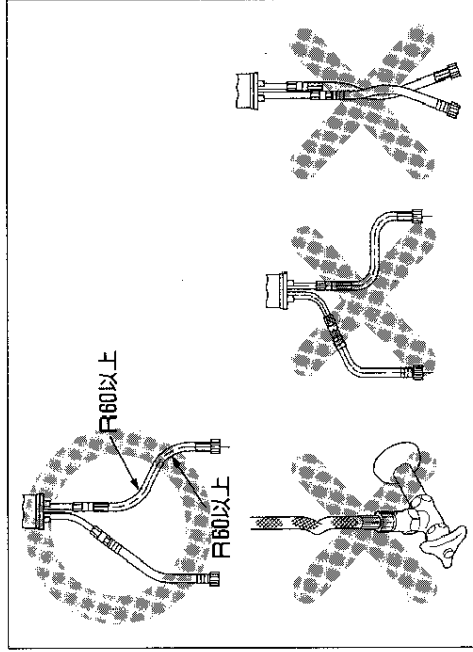


### 3. 給水・給湯ホースの施工上の注意点

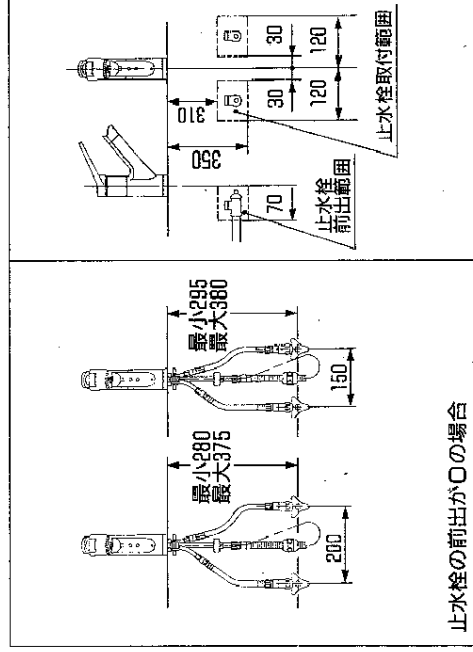
- (1)給水・給湯ホースを逆に使用しないでください。各専用ホースとなっておりますので、逆接続すると給水ホースより黒い粉が吐出することがあります。
- (2)ホースがねじれ粉が吐出ないように配管ください。
- (3)ホースがねじれて配管されると、加圧した際ホースを取付けたナットのゆるみみの原因となります。
- (3)ホースの折れに、ご注意ください。
- ホースを最小曲半径(60mm)より小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります。折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲半径(60mm)より小さく曲げないように、ご注意ください。

(4)金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

(5)ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。



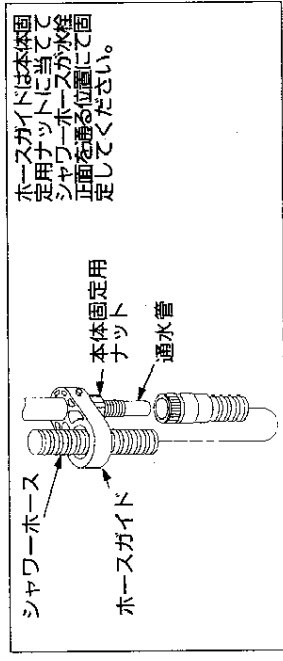
4. 給水・給湯ホースの施工について  
このホースの施工については、図に示す条件又は範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。



止水栓の前出か口的場合

### 5. ホースの取付け (一般用)

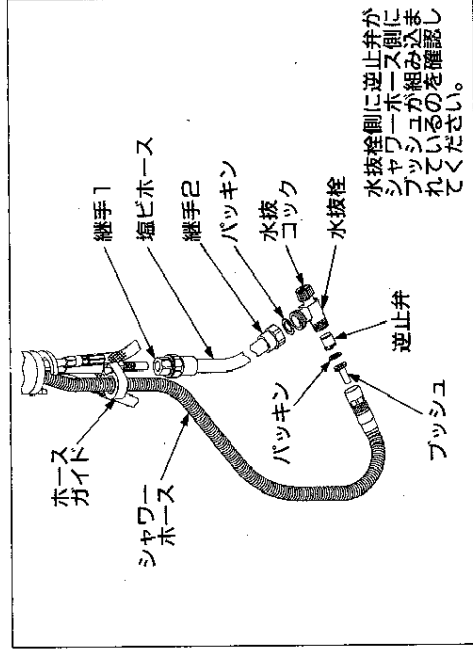
(1)ハンドスプレーを本体にセットし、シャワーホースをホースガイドの穴に通してから通水管に接続してください。



ホースガイドは本体固定用ナットに当ててシャワーホースが水栓正面を導く位置にて固定してください。

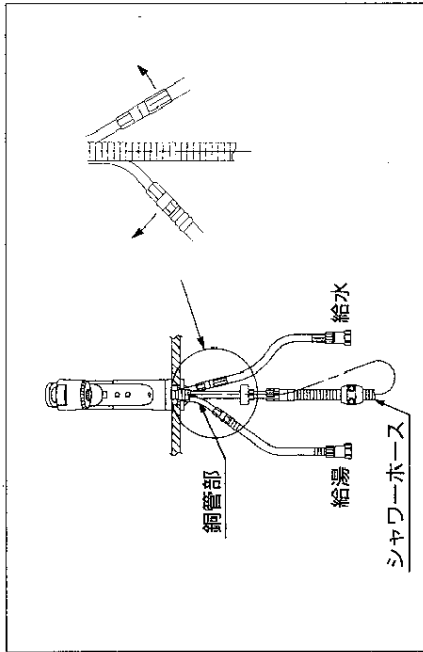
(寒冷地用)

- (1)継手1を通水管に接続します。
- (2)継手2を水抜栓に接続します。
- (3)ハンドスプレーを本体にセットし、シャワーホースをホースガイドの穴に通してから水抜栓に接続してください。



(4)ホースを取付けた後、ハンドスプレーを引出し、シャワーホースにひっかかりなどがなく、スムーズに引出せるか確認してください。

シャワーホースがスムーズに動かないときは、次の要領で調節してください。



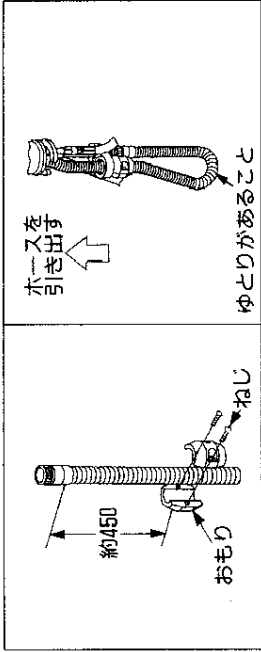
※給水・給湯の銅管部を左右に広げて、シャワーホースの通る空間を確保してください。

※シャワーホースがスムーズに動くのを確認してください。

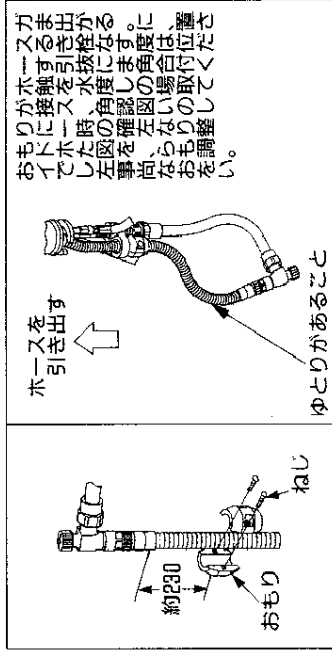
#### 6. おもりの取付け

おもりは、ハンドスプレーの納まりをよくするため、引き出したときのストッパーの役目をします。図の位置にしっかりと取付け、スプレーをいっばいに引出した状態でホースにゆとりがないときは、おもりの位置を適当にずらしてください。

#### (一般用)

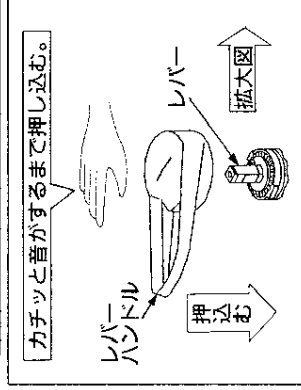


#### (寒冷地用)



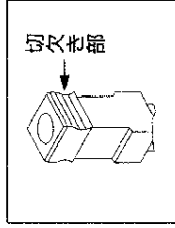
力がホースを引っ張る角度は、確認してください。おもりがホースに接触する場合は、おもりを調整してください。

## レバーハンドルの取付要領



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

#### ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。

正面から見てレバーの切欠きは、両サイドにあります。万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

## 使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。

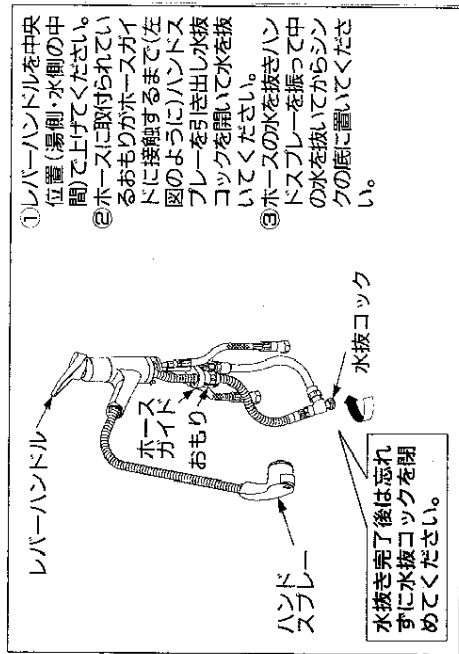
レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

## 寒冷地の水抜き方法

寒冷地用の場合は、器具の水を抜くため、ホース部に水抜きコックを設けておきます。凍結のおそれのある時期に施工

# 分解と点検

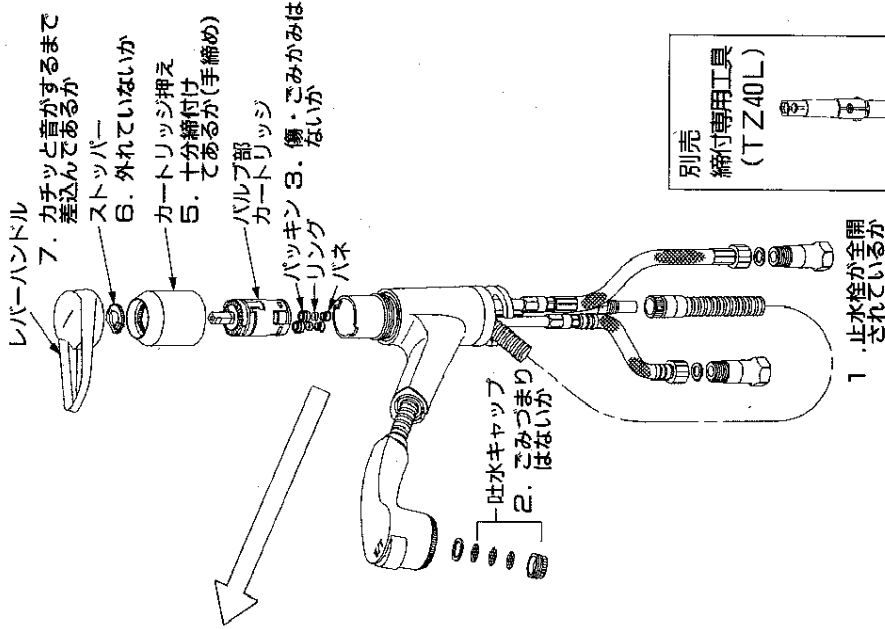
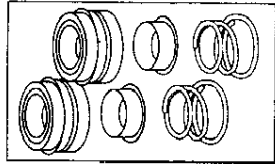
された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。



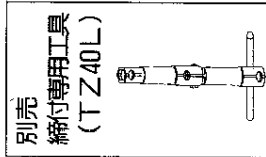
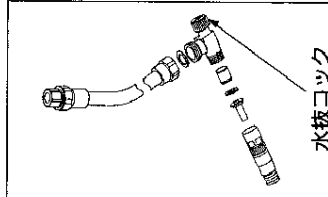
- ①レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の間)で上げてください。
- ②ホースに取り付けられているおもりがホースガイドに接触するまで(左図のように)ハンドスプレーを引出し水抜コックを開いて水を抜いてください。
- ③ホースの水を抜きハンドスプレーを振って中の水を抜いてからシンクの底に置いてください。

故障とその点検箇所	点検項目
現象	
吐水量が少ない。	1. 2.
水が止まらない。	3. 4. 5. 6.
吐水温度不良。	1. 2.
ハンドルがガタつく。	7.

4. 方向はあっているか



(寒冷地用)



取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

## ご注意

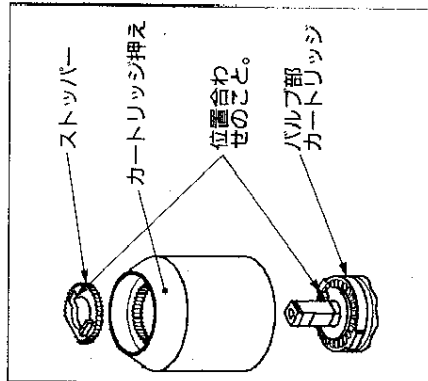
ハルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

## 点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。

再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込んでください。

その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。



※品番によっては、図と現品の形状が異なります。